

2025年度 総合案内

N日能研

東海版

小学 3年～6年

小学2年生に
ついてはコチラ



教室はすべて通いやすい駅の前!

教室のご案内

授業見学や体験・ご相談など、
お気軽にお立ち寄りください。



千種校
TEL: 052(939)3281



本山校
TEL: 052(789)0600



名駅校
TEL: 052(451)5601



金山校
TEL: 052(990)2829



藤が丘校
TEL: 052(760)0050



浄心校
TEL: 052(508)6464



御器所校
TEL: 052(859)1805



新瑞校
TEL: 052(822)2277



植田校
TEL: 052(800)5701



豊田校
TEL: 0565(37)3481



刈谷校
TEL: 0566(62)5781



岡崎校
TEL: 0564(73)1221



勝川校
TEL: 0568(37)2370



江南校
TEL: 0587(50)5570



一宮校
TEL: 0586(48)5485



岐阜校
TEL: 058(269)1127



小学生のみの中学受験予備校



東海本部
〒461-0004 名古屋市東区葵3-24-2
第5オーシャンビル4F
<http://www.nichinoken.co.jp>

お問い合わせは
コチラから! ▶▶▶



受験は、未来を見つけてける旅だ。

日能研で学ぶ、一生使えるチカラ。



こんにちは...
教室にうまく
なじめるかな

どきどき
あてられたら
どうしよう?

えへへ
むずかしくて
答えられません

なにこれ
あれ、さっき考え
たのと似てる



キミの
答えは?

あ、自分と全然
違うこと考えてる

えっ?
そうなの?
こんな解き方も
あるなんてね



うわっ!
スゴイ!
おもいついた自分を
ほめてあげたい

ちょっと
待って
この答えでホントに
よかったのかな?

先生、
こんな答えも
あるよ
答えがいろいろ
あっていいんだ

じゃあ、
次こうすれば
どう?



激動する社会の中、未来を担う子どもたちの教育も従来とは異なり、知識や解き方の修得からさらに進めて「どんな資質や能力を身につけられるか」が問われる指導に様変わりしようとしています。

かねてより私学が主張し、日能研が主張する

「自らの意志による学び」に時代が重なりつつあります。

**中学受験をきっかけに、
一生使える学力をつける。**

「まだ習っていないからわからない」という言葉

を聞いたことはありませんか? 私たちはこの言葉に不安を感じます。それは私たち大人が日々直面する課題が「習ったことのない」問題の連続であるという実社会との距離を感じる一方、個性も能力も異なる子どもたちが、特に学習に関しては一律であることの不自然さを感じるからです。

私学の学びはこうした不自然さと「線」を画す、「知らないことがあるから考え、学ぶのだ」という、学習本来の姿です。そして、この学習姿勢こそ、人生という長い旅を通じて学べる、子どもたちにとってかけがえのない手だてとなるのです。

**「気持ち動かす
未知との出会い」を
大切にします。**

子ども時代を思い返せば、学びに限らず、旅行も、運動も、気持ちの動いた体験はずっと心に残っているはず。日能研では「気持ちを動かす知識との出会い」を子どもたちの学びの大テーマとして大切にしています。疑い、気づき、発見、驚き、戸惑い、感動... 日能研の学びには、そんな気持ちの動きを常にとまらぬような「出会いの瞬間」があるのです。子どもたちが向かう未来は自分

たちが何かを変えなければいけない、新しくつくり出さなければならぬものになるはず。この点で、体験的な学び(やってみる、使ってみる)という学びは、まさに未来に向けたアプローチと言えるでしょう。たとえば私学の入試問題に「分数を知らない子どもに1/4+1/8を教えなさい」という問題があります。ここでは、分数という道具を持たない子どもたちの立場に立って、キーキヤリンゴの例でわかりやすく伝えるための気づきや工夫が求められます。「考えてやってみる・使ってみる」立ち止まって、ふり返る「自分は何をしたんだらう?」どんなふうにしたんだらう?「こうすればもっとよくなるかな?」ともどもちはそんなふう考えたのか?「こうしたプロセスを重ねていくことで、一生使える学力を手に入れることができるのです。

**そして体験的な学びには
「意図して学ぶ」という
行為が必要です。**

ここで大切なのは、「自分が意図して学ぶ」ということ。それが自分やろうとして行ってきたことだと自覚できれば、「これからどうしよう」を考え出すことができます。日能研は「子どもたちと知識との出会い方」という

**知らないこととの
出会いにワクワクできる
たくましさ。**

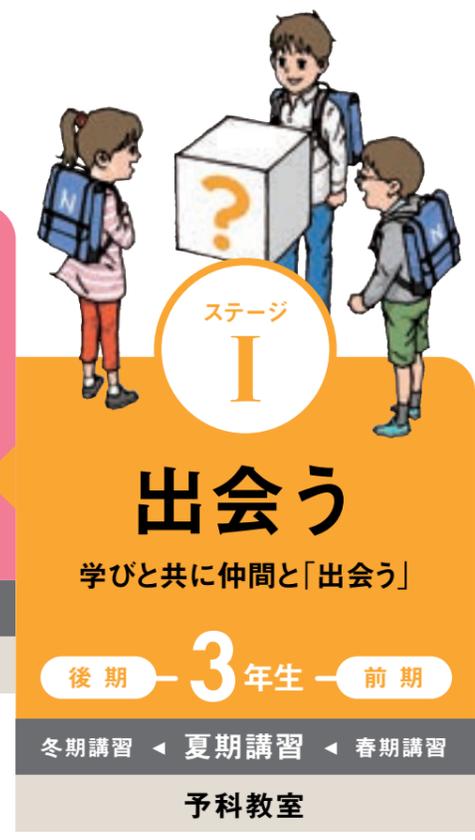
冒頭に述べたように、子どもたちがまだやったことがない、習っていない「未知」との出会いを恐れず、挑戦するための体験(思考技法)知識と知識のつながりを獲得した学びを得ていけば、それは好奇心を刺激する喜びになります。そしてこの喜び、学び体験こそ、未来を輝かせる最高の方法だと考えます。知識と出会い、自発的に「もっともっと考えたい」というエネルギーがわいてくる。そうした姿勢は成長しても学び続けることのできる姿勢となります。「生の伴侶となる」学びをこの時期に身につけることで、人生はもっと豊かな旅になる...知識との新鮮な出会いが、日能研の授業にはあります。



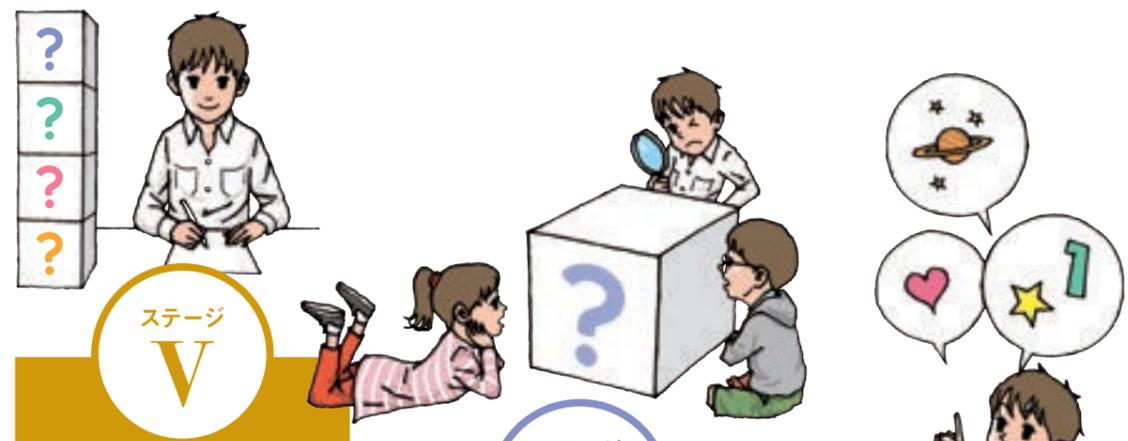
伸びしろを どこまでも広げる 学習プログラム。

旬の学びをつくる ステージ制・系統学習

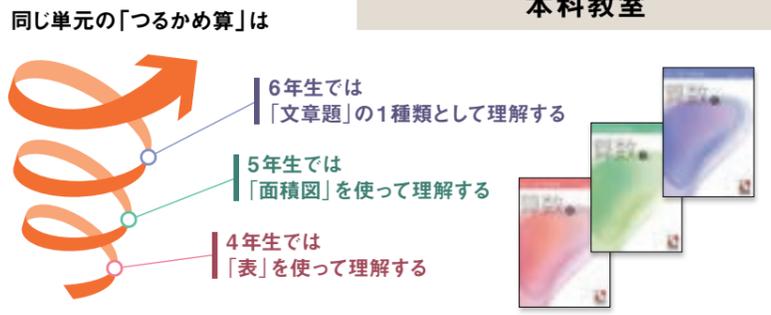
成長する子どもたちと寄り添ってほしい。その時期その時期に最も必要な学び方をしたい。日能研では、小学3年生からステージ制がスタート。各ステージには、その期間で大切にしたい成長・成熟のテーマがあります。さらに6年生の後期には、入試直前ステージとして「合格」に特化したステージⅤがあります。だから、ステージⅣまで、子どもたちはのびのびと安心して「学び方を学ぶ」を思いっきりできます。また、ステージⅣまでの学びが豊かであればあるほど、受験生としてステージⅤで収穫できるものは大きいのです。



合格、そして進学へ



●らせん構造の本科教室
学習プログラムがらせん構造になっていて、4年生で学んだことを5年生で、5年生で学んだことを6年生で、というふうに、解き方を変えて、レベルアップ。同じ内容を学年を経てさまざまな角度から繰り返して学んでいきます。



ずっと使える「考えるワザ」を学ぶための学習プロフィールシエンシーシステム
日能研に通う子どもたちは、さまざまな方法で知識と出会います。「当たり前」と思われていることを疑ってみたり、先生から教わるのではなく自らの力で探求したり、既に身につけたいくつかの知識をつなげてみたり。私たちは、そうして新しい知識と出会うときに使っているチカラを「思考技法」と名づけました。
〈思考技法〉は、子どもたちがアタマを動かして、考えるときに使うワザのこと。これは一度獲得したら、いつでもどこでも取り出して使えるチカラです。他の分野や教科でも、ずっと使い続けていけるワザなので進学後も、大人になっても、学んでいく上で、生きていく上で、一生持ち続けられる「持続可能学力」となるのです。

Zクラス
4年生から受講できる特別クラス。全国最難関校の合格をめざす生徒を対象としています。

G講座
東海地区の難関校はもちろんのこと、全国の難関校の合格まで視野に入れた幅広い思考技法を身につける講座です。

子どもたちがそんな〈思考技法〉に熟達するために、日能研のステージⅡ・Ⅲ・Ⅳでは〈学習プロフィールシエンシーシステム〉で系統立てて学びを進めていきます。プロフィールシエンシー(Proficiency)には「熟達・熟練」という意味があり、このシステムで目指す熟達モデルは、子どもたちが学ぶべき学習項目を素材(知識)として〈思考技法〉と結び付けて理解していく状態。つまり、単なる知識の詰め込みではなく、獲得した素材や〈思考技法〉の整理のしかた、活用のしかたを重視しているのです。〈思考技法〉に対する意識を獲得した子どもたちは次に、「素材」と〈思考技法〉を切り離し、自在に組み合わせることができるようになっていき、新しく出会った未知の「素材」でも、自分が持っている〈思考技法〉と結びつけられるチカラを育てていきます。その結果、初めて見る入試問題でも臆することなく、さまざまな視点で関係をとらえ、思考を広げて課題解決できるようになるのです。
このように日能研では、学びを通して、合格・進学後も将来にわたってずっと使えるチカラ、〈思考技法Ⅱ(持続可能学力)〉を携え、自ら学び進む人への道を歩む子どもたちを応援します。

I

ステージ

3年生

仲間といっしょに 学ぶ楽しさを 出会う。



ステージIで子どもたちが出会うのは、学ぶ楽しさ。小学3年生のこの時期には、ひとつひとつの知識との出会いを大切にしたいと考えているため、知識の使い方を学ぶシステム学習はステージIIからとしています。

日能研では、ステージIを（予科教室）と位置づけ、本科教室につながる準備段階のプログラムをご用意。国語と算数の学習を通して学びの楽しさと出会い、真つぐな学習意欲を育てます。

自由に考え、発想する感覚を養うことで「学ぶって、楽しい！おもしろい！」と感じ、自然と「もっと学びたい！」と学習意欲を高める1年間となるでしょう。

小学3年生から日能研を始めるメリットは？

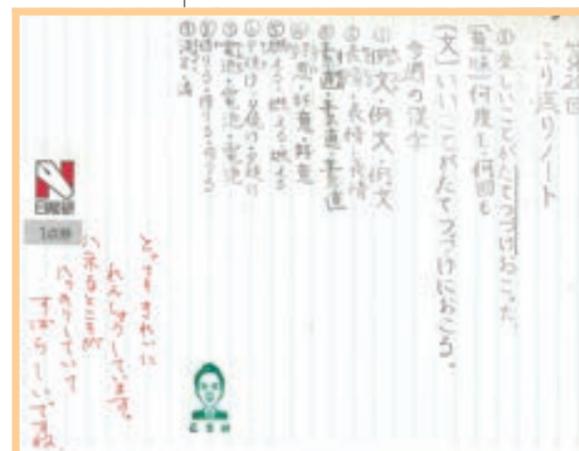
9歳になる頃、子どもたちは「自分にだけわかる世界」から抜け出し、「誰かとわかり合える世界」を少しずつ共有できるようになります。そんな学びの大転換期、子どもたちには「仲間との学び」に出会ってほしい。「なぜ？」という身近な「？」について自分で考え、思いついたことを他者に伝える。「自分以外の人＝他者」を区別し始める時期だからこそ、小学3年生から始める日能研には、自分自身の世界を最大限に広げるためのチャンスが待っています。

●ふり返りノート

家庭での学び直しは、テキスト各回の最後にある「ふり返りノート」で行います。授業で何をどう学んだか、自分の言葉で整理することで学んだ内容を理解していきます。「今週の漢字・今週の計算」で基礎力もしっかり身につけます。

●マイファーストテスト

子どもたち自身が「どんなふうにかえるか」と向き合うテストです。「自分ならこう考える」にたくさんチャレンジし、初めて出会う問題に、自分ひとりで考えて、表現してほしい。だから毎回毎回が、自分にとって初めての“マイファースト”テストになるのです。



No.1

ステージI

日能研マイファーストテスト 第六回 三年 国語(四〇分)

答えは、何れか一つに正解を選んでください。○は正解、×は不正解です。○は正解、×は不正解です。○は正解、×は不正解です。

○ リョウくんが、部屋の本棚を整理していると、まどのかげから何かが部屋の中に入ってきました。ふと見ると、一冊の手紙と似たようなものが出てきた。リョウくんは手紙を拾って、よく見た。手紙の裏には、リョウくんの知らない漢字がいろいろかいてありました。次は、①～④の漢字が、リョウくんの読めなかった漢字です。あなたが、①～④の漢字の読み方を覚えて、リョウくんに教えてあげてください。

No.1

ステージI

日能研マイファーストテスト 第六回 三年 国語(四〇分)

答えは、何れか一つに正解を選んでください。○は正解、×は不正解です。○は正解、×は不正解です。○は正解、×は不正解です。

○ リョウくんが、部屋の本棚を整理していると、まどのかげから何かが部屋の中に入ってきました。ふと見ると、一冊の手紙と似たようなものが出てきた。リョウくんは手紙を拾って、よく見た。手紙の裏には、リョウくんの知らない漢字がいろいろかいてありました。次は、①～④の漢字が、リョウくんの読めなかった漢字です。あなたが、①～④の漢字の読み方を覚えて、リョウくんに教えてあげてください。

手紙をうけてったさみへ

ぼくは、ラムネ星からやってきたジュワジュワ星人だよ。ラムネ星のさまざまな試験を①通過して、地球をおとすれることができたよ。さみは、ロケットにのって②不思議な旅に行くことができる。地球人の一人にえらばれたんだよ。

③燃えるような太陽が、いっしょんにしてきてしまいました。すを、すぐそばで④観察してみないか？

この手紙といっしょにとどいた、ピラミッドのような形をしている箱が、ロケットになるんだ。

左にある説明の⑤順番どおりに、ロケットをそうさしてくれ。たまえ。

説明

まず、箱のそこにあるスイッチを押さす。

次に、スイッチをおす。

H

ステージ

4年生〈前期〉

「学び方」に親しむ。

系統学習で、ずっと使える



子どもたちに目指してほしいのは、豊富な知識を持った人になることではなく、知識を使える人になること。ステージIIからは、学んだ知識そのものよりも「どのように学ぶか」に目を向け、進学後や社会人になっても一生役に立つ、自ら学ぶ力を身につけます。

学習内容の定着に向けて（授業）の中で興味・関心を深め、家庭での（学び直し）によって、学んだことを定着させ（テスト）に取り組むことで発見した新たな気づきを未来につなげ、自ら主体的に学びと向かい合う「自分の学び」をつくり育てていきます。

●ステージII：各教科の学習テーマ

国語 必要な情報を
読み解く力をつける

数多くある情報の中で「もっとも重要な情報に着目する」ことを、読解を通じて学びます。また、物語のできごとと心情のつながり、説明文のつながりなどから「部分どうしのつながりや部分と全体のつながりを読み解く」ことを学びます。



理科 「特徴をとらえる目」
を身につける

「共通点と違う点に着目して、分類する」ことを、昆虫や植物のつくりや働きを通して学びます。また、「情報を読み取る」技術を、物の体積と重さの関係やばねののびとおもりの重さの関係などのグラフや表から、変化のようすや規則を見つけて出すことで学んでいきます。



算数 計算の「意味」を考えて
答えを導き出す

整数の四則計算の方法や仕組みを学び、数や量の意味や性質、計算の意味に目を向けられるようになることが目的です。また、平面図形の性質や求積のしかたを学びながら、着眼点を定めて情報をとらえるという思考力を獲得していきます。



社会 日本の自然と
地形について知る

きまりを使って地図や資料の情報を読み取ることからスタートです。日本の自然については、地形の特色と自然現象のつながりに目を向けます。また、47都道府県は名前・形・面積・人口などの関係に目を向けるとともに、境や区分ができる理由も考えます。



III

ステージ

4年生〈後期〉
5年生〈前期〉

いろいろな学び方にチャレンジ！
視点や知識を広げる。



● ステージⅢ：各教科の学習テーマ

国語 文章の「行間を読み解く」
技を身につける

筆者の意見と具体例・理由などのつながりを読解を通して学びます。また登場人物の心情の類推などを通じて「具体的な情報から、直接的に書かれていない情報を探る」ことを学び、接続語や指示語の役割から「情報を構成する部分どうしの関係」のとりえ方について学習します。

理科 原因の究明・考察の
方向性を身につける

「実験・データをもとに筋道を立てる」ことを、天体の動き、物質の性質、ばねののび方やこのつり合いなどを通して学んでいきます。また、「調べることを明確にし、比較する」ことを、植物や動物の構造や働きを通して身につけます。

算数 与えられた情報の使い方、
アプローチの仕方を考える

小数、分数の性質と四則計算を学び、扱える数や量の世界を広げます。また、与えられた情報を図に視覚化し、特殊算や割合などの文章題を理解していきます。さらに、図形の求積を通して、着眼点を意図的に変えるという思考の方法を探っていきます。

社会 資料からわかる背景や
理由を読み解く

図やグラフなど統計資料の読み方や表現のしかたを知り、調べたり比べたりする技法が熟達していきます。日本の自然の特色からそこで暮らす人びとの生活や産業との関係をとらえたり、立地条件との関係から都市や産業が発展した理由を理解します。

● ステージⅣ：各教科の学習テーマ

国語 文章全体の要旨や
情報の構造を読み解く

部分と全体のつながりや、情報の中にある意図・工夫された表現方法などのとらえ方を学びます。そして、情報を構成する部分どうしの関係から、情報の論理展開をとらえ、全体像や情報の中心の把握方法を学びます。また、これまで学んだことをもとに、長文の中で提示されている「情報の構造をとらえる」ことを学びます。



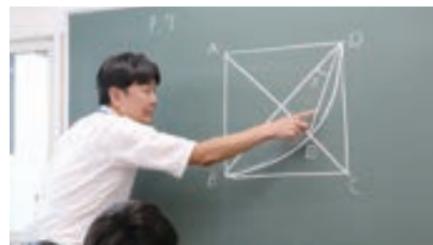
理科 知識と情報を
組み合わせて活用する

「情報を読み取り、利用する」ことを、電流・てこなどの力のつり合い、水溶液や音、光などの物質の性質、大地の変化や天体の動きを通して学んでいきます。さらに、各単元で身につけた知識との関連を考えながら読み取ったデータを活用できるようにします。



算数 「比」という新たな
考え方を手に入れる

数量を抽象化、簡略化してとらえやすくするための道具となる「比」がメインのテーマとなります。比そのものの概念を学び、すでに学んだ内容を、比を利用した解き方を考えます。また、立体図形を使って着眼点を変えることを試みていきます。



社会 地・歴・公
バランスよく学ぶ

原因と結果の関係に目を向けて、歴史上のさまざまな変化やできごとをとらえていきます。ステージの後半になると、地理分野と歴史分野の知識をまとめ直し、整理します。公民分野では、日本の政治のしくみや働きを理解します。



IV

ステージ

5年生〈後期〉
6年生〈前期〉

知識を自由に使いこなして
学び方や考え方を深める。

何年生から通い始めるのがベスト？

「何年生からがベスト」とは一概に言えません。お子さまの学習について、今後の進路について、また中学受験について、お考えになられた段階で、ぜひ日能研の教室にご相談ください。また、中学受験と習い事の両立が可能かどうかを心配される方も多いと思います。日能研では、入会時には多くの方が習い事をされていますし、6年生の入試時期まで習い事やスポーツを続けながら中学受験にチャレンジし、進学されるケースもあります。私たちは、それぞれのご家庭の状況に応じて、その時々で何が最良の選択かを一緒に考え、ご提案させていただきます。

ステージⅣの1年間は、これまでの学び方をより深く追求していくとき。思考技法を深め、いろいろな考え方を組み合わせたり、状況に応じて組み替えたりと、思いのままに使いこなすことを目指します。さらに、自由な考えから生み出される表現がお互いの良い刺激となり、磨かれ合って子どもたちは成長していきます。

わかる!を実感できる 習熟度別クラス

日能研では、テスト結果に基づいて定期的にクラス替えを実施。クラス内の習熟度の差を小さくすることで授業では毎回「わかる!」を実感でき、子どもたちのモチベーションを高く維持することができます。良き仲間たちとのシナジーが生まれ、お互いに刺激し合いながらぐんぐん成長できる環境です。

開講クラス	3年生：Aクラス	4～6年生：Mクラス(選抜クラス)、Aクラス
クラス替え	4・5年生：2か月に1回	6年生：毎月
1教室あたり人数	約25名	

ステージⅡまでを経験した子どもたちは、日能研での学びにも慣れ、学び方にも自信の自信やこだわりを持つようになっていくでしょう。ステージⅢでは、いろいろな学び方と出会うことで、これまでとは違う学び方にもチャレンジしていきます。「自分はこうしたいんだ!」という想いに気づき、自分なりの学習スタイルを育てるために、学び方を主体的に広げていくことができます。



6年生〈後期〉

合格力を
徹底的に鍛える。



はつきりした
目標に向けて、
自分をとことん
伸ばす半年間。

6年生の2月からスタートして
いる日特(日能研入試問題研究特別
講座)は、夏期講習が終了すると、
いよいよ志望校合格を勝ち取るた
めの学びへと変わります。

ここからは、子どもたちが入試本
番で学力を活かせる「合格力」の
完成が最大のテーマ。ステージIVま
での系統学習に代わって、ステージ
Vで初めて子どもたちは「目標達
成」に向かってギアを入れ替え、大
人たちが驚くようなスピードで成
長していきます。
出願準備などで、保護者の方に
とってはあつという間の半年間。「豊
かな合格」に向けてのラストスパー
トを、みんなで走り抜けましょう。

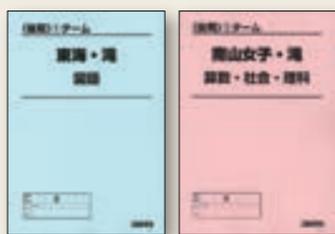
合格・進学

志望校へピンポイントで狙い打ち

お子さまの志望校に特化した最後の対策授業です。志望校別の
テストを使用し、実力を100%発揮できる態勢を整えます。

● 志望校別対策

＜対象校＞東海、南山男子部、名古屋、
愛知、滝、南山女子部、愛知淑徳、金城
学院、椋山女学園、海陽、高田、鶯谷など



得点力アップで志望校合格に近づく「志望校別日特」

通常の授業とは別枠で日曜日に開催。志望校にターゲットを絞って、時間配分や解答
の優先順位のつけ方など、具体的なポイントを身につけます。

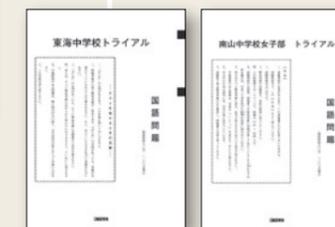
● 合格力育成テスト・ 合格力実践テスト(9月~12月)

これまでに培った知識・技術を
得点力に換えるテストです。問
題は、記述に特化した「難問」と
オールマイティに対応した「総
合」となります。



● トップ私立中学校別 トライアル(11月)

愛知県内の最難関校を目指す受験生の
ための「入試そっくりテスト」。過去の入試
問題の傾向を分析して出題されます。
〈対象校〉滝、東海、南山女子部



志望校別対策

日特(日能研入試問題研究特別講座)

入試問題に強くなるう 合格力ファイナル

自分の志望校や到達度にあわせて学ぶ 合格力完成教室

● ファイナル 2 (冬期講習)

国語・算数・理科は最重要分野の演
習、社会は時事問題対策として『重大
ニュース』を使った演習で答案作成力
を磨きます。

● ファイナル 3 (直前講習)

入試本番をイメージし、時間設定を
して予想問題に取り組みます。全国難
関校の最新の入試傾向も参考に各
科目分野別に最終チェック!

● ファイナル 1 (12月~)

入試本番で出題されるさまざまな問題
形式のテストで、効率よく得点を積み
重ねるためのテスト戦略を磨きます。
「ファイナルチェック」では入試頻出分
野を最終確認。残り1か月の課題を明
確にします。



目標・計画・実行を確実にサポートするプログラム

ステージIVまでに培った学力に得
点力を加え、合格力を鍛えます。
答えや式だけでなく、考えたプロ
セスの表現が問われる最近の入
試にも対応できる力を磨きます。

● ステージVテキスト

日能研の合格テクノロジーを結集
し、質・量ともに充実の内容です。



● メモリーチェック (家庭学習用教材)

社会・理科の知識を「どこまで自分
で使いこなしているか」を確認する
テキストです。



入試(1-2月)

2月

1月

12月

11月

10月

9月

● 入試問題を分野と難度で 個別クリニック「個人別BT表」

志望校の入試問題や子どもたちの学びの状況
を「分野」「難度」の面から見る事ができるデー
タです。同じ志望校を目指す仲間たちと比べるこ
とで「どの分野の、どのくらいの難度の問題を強
化していくべきか」という合格のための課題を見
つけることができ、計画と実行をより具体的にす
るための成績表です。

個人別BT表		育成テスト+公開模試版	
志望校: 5811 東海		4科目偏差値	2科目偏差値
		64.7	63.6
		59	56
社会			
歴史	現代・外国史	14	15
地理	自然・文化史	10	11
公民	現代・外国史	10	11
歴史	現代・外国史	10	11
地理	自然・文化史	10	11
公民	現代・外国史	10	11
歴史	現代・外国史	10	11
地理	自然・文化史	10	11
公民	現代・外国史	10	11
理科			
物理	力学	4	4
物理	電磁気	4	4
物理	熱力学	4	4
物理	波動	4	4
物理	光学	4	4
物理	原子・分子	4	4
物理	宇宙	4	4
化学	物質	4	4
化学	反応	4	4
化学	元素	4	4
化学	化合物	4	4
化学	有機	4	4
化学	無機	4	4
生物	植物	4	4
生物	動物	4	4
生物	生態	4	4
生物	遺伝	4	4
生物	進化	4	4
生物	環境	4	4

教務スタッフそれぞれが1教科専門のエキスパート。

受験への旅を「対話型授業」でリードします。



クラス担当



国語担当

算数担当

社会担当

理科担当

国語、算数、社会、理科
それぞれの教務スタッフ
+
クラス担当 で
構成されるシラバスチーム

日能研では各教室の全クラスに、クラス担当と授業担当者4名からなるシラバスチームを組織しています。授業の設計図であるシラバスをもとに、常に連携を取りながら「ひとりひとりに今何が必要か」を考え、実践しています。

全員
わかりやすさのプロ。
私たちが
徹底指導します。

私たち日能研の教務スタッフは、全員が1教科専門のプロ講師。アルバイト講師はひとりもいません。担当教科のスペシャリストとして、子どもたちのための「わかりやすさのプロ」と認められた者だけが教壇に立つことができるのです。
同時に私たちは、子どもたちの学びの空間をつくる仕掛け人でもあると自負しています。個も集団も大切にしながら、子どもたちの「考える」が動き出す投げかけ、子ども同士のイキイキとしたやり取りが生まれるような働きかけ、授業のふり返りを促す声かけなど、さまざまな手段で子どもたちの学びをサポートします。一方的に「教える」のではなく、子どもたちの「体験的学び」を日能研で育んでいただき、お子さまを志望校合格へと導きます。

どこまでも対話型授業。
一方通行は行いません。

先生の話静静地に聞く。テキストに書いてあることを読む。黒板に書いてあることをきれいに写す。これが一般的な「授業」のイメージかもしれません。
しかし、日能研ではそうした一方通行の授業は行いません。大切なのは、仲間や講師から多くの刺激を受けること。たくさん考えて、発見して、表現する。アタマ・ココロ・カラダをめぐらさずにはいけません。
授業が終わると「楽しかった!」「おもしろかった!」「いっぱい考えて頭が疲れた!」という子どもたちの声が聞こえてきます。



自習

授業の前後に自習している子どもが多いですが、開校日なら授業のない日でも自習場所を用意しています。



授業

演習中は緊張感のある雰囲気、メモを取りながら解説を聞く姿勢は真剣そのもの。それぞれの考えを発表するときには一転してにぎやかになることもあります。



教室の先輩がみんなの相談役
(ピアサポーター)

子どもたちの家庭学習のノートをチェックします。疑問点などがあれば授業担当者とも共有し、ただちに対応することも。他にも、テスト監督や机や椅子の消毒など子どもたちを近くで見守る存在。日能研のOB・OGも多く在籍しています。



質問

質問に来る子どもが多いのは授業後。授業で学んだ内容をすぐに確認する子や、家庭学習で出てきた疑問を聞きに来る子もいます。他にも学習方法や苦手な分野の克服法などを相談する子どもも。教務スタッフは、ただ質問に答えるだけでなく、次はどのように学んだらよいかを子ども自身が考えられるようにアドバイスしています。



N生の1日
(日能研生)



授業

休憩後は再び授業に集中しましょう。

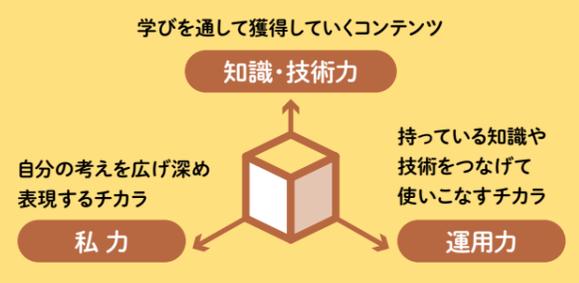


食事

5年生からは授業の合間に軽食をとる休憩時間があります。お弁当が一番のリラックスタイム。

学力をどこまでも伸ばす 日能研の3軸モデル

私たちは私学へつながる学びを通して、未来をつくるチカラ、子どもたちと共につくりたい学力のモデル図を、3本の軸で表すことができます。私学へ、その先の大学(高等教育)へ、さらにその先の未来へ。生涯にわたって使い続けることのできるチカラ(持続可能学力)が、この3つの力で構成されていると考えます。





参加者約12,000人!
自分自身の力を試す「全国公開模試」
 全国で約12,000人が参加します。過去35年にわたって蓄積されたノウハウと、7万件におよぶ入試データ分析に基づき、信頼性の高い判定結果で憧れの志望校との距離を測ることができます。

テストで「自分自身を確認する」

学習力育成テスト

授業での学びと家庭での学び直して身につけた「自分の学び」を確認する場所、それが「学習力育成テスト」です。成長した新しい自分を実感すると同時に、テスト後のふり返りと合わせて、自分の学びを育てるための道具です。小学3年生から6年生まで通うと、累計約120回、約20,800問の問題に向き合うことができます。



②つのテキストで驚きと追体験を

子どもたちにとって授業は、「自分の学びを仲間と共につくる場」。知識と初めて出会い、ワクワクドキドキにつながる体験です。日能研ではステージごとに、授業で使用する〈授業用テキスト〉と、自分一人で「学び直し」をするための〈家庭学習用テキスト〉をご用意。2つのシーンそれぞれに合ったテキストで、子どもたちの「なんで?」「もっと知りたい!」に応えます。



家庭学習で「学び直す」

家庭学習用テキスト「栄冠への道」

本科教室で扱った内容の類題を掲載。授業や本科教室を思い出しながら、学んだ内容が身についているかを確認できるテキストです。さらに、授業内容をふまえて理解を深められるようなヒントや応用問題も含まれています。



授業で「出会う」

授業用テキスト「本科教室」

テキスト本文に入る前にある、「学びのひろば」と「学びのとびら」。今回出会う思考技法を紹介する「学びのひろば」と、思考技法と知識を結びつけた「学びのとびら」、この2つのページを通して、子どもたちは学びの世界へと入っていきます。

日能研の学びで使用するテキストに、「既製」のものはありません。すべてが自社のオリジナル教材。日能研のプロのノウハウを詰め込んだテキストです。

〈授業用テキスト〉では、授業中に感じたこと、考えたこと、子どもたちは自分の中に生まれた言葉をテキストに直接書きこんでいきます。「こんな考え方ができないかな?」「先生のこの話がおもしろかった!」など、授業中の感動を自分の言葉で書きこむ。だから、日能研のテキストには余白が多めに取られています。

また、「家庭学習用テキスト」には、授業で得た感動を思い起こし、出会ったときには気づかなかったものを改めて発見できる工夫も。学び直しに取り組みむときの大切なパートナーです。

日能研のテキストはすべてが自社開発。長年のノウハウが活かされています。

発見と驚きが詰まったテキスト&テスト体系。

考えることが、どんどん楽しくなる。

同じ単元が繰り返し登場!

ステージに合わせてレベルアップする本科教室

本科教室の学習内容は、入試に必要な内容を厳選・再編しています。同じ単元を繰り返し学べるらせん構造の学習プログラムで、4年生で学んだことを5年生で、5年生で学んだことを6年生で、というように少しずつ考え方を変えてレベルアップ。同じ内容を成長に合わせてさまざまな角度から繰り返すことで、無理なく効果的に学べます。

<例>

4年生

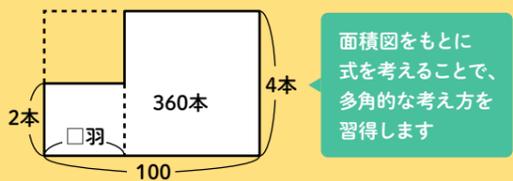
【問題】つるとかめが合わせて6います。足の数の合計が18本あるとき、かめは何匹いますか。下の表を使って考えましょう。

つる(羽)	6	5	4	3	2	1	0
かめ(匹)	0	1	2	3	4	5	6
足の数の合計(本)	12	14	16				

まずは、表を使って規則性を理解するところからスタート

5年生

【面積図の利用】つるとかめが合わせて100いて、つるとかめの足の数の合計が360本であるとき、つるの数を□羽とすると、下のような図をかくことができる。



面積図をもとに式を考えることで、多角的な考え方を習得します

$$(4 \times 100 - 360) \div (4 - 2) = 20(\text{羽}) \dots \text{つる}$$

$$100 - 20 = 80(\text{匹}) \dots \text{かめ}$$

6年生

【問題】つるとかめが合わせて30いて、足の数の合計が104本です。かめは何匹いますか。

文章から自分で表や面積図を導き出すことにチャレンジ学んだことを使う練習をします

実際のテキストの問題とは異なる場合があります。

「いつでもどこでも合格まで徹底サポート！」

「データの日能研」が誇る情報提供ツール&システム。

電子採点(DI)システム

答案用紙はテスト後すぐに返却

週末のテスト結果は翌月曜日にMY NICHINOKENにUP

当日のうちにスキャニング

採点

テストの実施

答案用紙返却

ふり返り

新鮮な気持ちのまま見直し・解き直しをすれば、テストは「学びの道具」になる。

答案用紙をその場でスキャニング＝デジタルイメージ化するので、自分の答案用紙はテスト後すぐに持ち帰ることができます。「なぜこう考えたんだろう?」「どうしてこの問題、わからなかったんだろう?」「この問題、気になる!」など、テストに向き合った時の気持ちがはつきりと残っているうちに、子どもたちは自分が書いたばかりの答案用紙を使ってテストの見直しをします。答案用紙の使い方は、子どもたちの自由。満足できない答えを消して新しい答えを書くもよし、テキストを見ながら書けなかった空欄を埋めるもよし、赤ペンで自己採点するもよし。そのとき、テストは「学力を試すもの」から「学びの道具」となるのです。

学習支援システム(GSS)

たくさんの目で子どもを見守る

採点者

作問者

授業担当者

日能研スタッフ

家庭

「味方がいっぱい」だから子どもたちのやる気もアップ。

答案用紙をデータ化することで、何人もの人が同時に見ることを可能にすれば、子どもたちの「いま」がいっぱい詰まった答案を、本人だけでなく、採点する人、問題を作った人、授業をする人、親子…たくさんの「目」で見つめることができます。すべての人がその子に一番の方法を考えてサポートすることができる学習支援システム。だから子どものやる気を最大限引き出すことができるのです。

<個人向けWEB情報サービス>
MY NICHINOKEN で知りたい!
 あんなこと・こんなこと

テストの見直し

- ▶ 採点結果
- ▶ 解説(アンサーガイド)
- ▶ 出題のねらい
- ▶ 仲間の記述例 など

成績情報

- ▶ 受けたテストすべての成績
- ▶ アンサーガイド
- ▶ 仲間の記述例

学習サポート

- ▶ 授業でやったところ
- ▶ 分野別正答率
- ▶ 分野別難度別問題検索

学校情報

- ▶ 各中学校の紹介
- ▶ R4偏差値一覧
- ▶ イベント情報

入試サポート

- ▶ 親と子の栄冠ドラマ
- ▶ 合格HOT LINE

教室からのお知らせ

- ▶ 月間/年間スケジュール
- ▶ 教室からの発信物
- ▶ 栄冠ポイントの確認

中でもMY NICHINOKENは、「データの日能研」が誇る、最先端のデジタルデータ活用サービス。日能研ホームページから個人ページにログインするだけで、多彩な情報にアクセスすることができます。

テストの結果や成績情報など、保護者の皆さまが気になるお子さまの学びの状況をはじめ、志望校選びにも役立つ学校情報、教室からのお知らせなど、きめ細かい情報をリアルタイムに得られるツールで、毎日の学びをいつでもどこでもサポートいたします。

テストは「学力を試すもの」から「学びの道具」へ。

これまでのテストは、学んだことを試したり、学力を測ったりする手段として用いられてきました。しかし、私たちは「テストには、もつとやれることがある」と考えます。

その一つが、テスト後すぐに答案返却を可能にした「電子採点DIシステム」。○×がつくと、どうしても保護者の方の目ではできなかった「X」にいつまでも悩まうものです。でも、採点前の答案用紙からは「前よりも記述問題が多くなった」「字がとてきれいなようになった」など、保護者の方もこれまでとは違ったお子さまの成長を感じられることでしょう。

テストの採点結果は、翌月曜日にはMY NICHINOKENでチェックできます。全国順位や設問ごとの正答率はもちろん、合格判定テストでは志望校に対する合格可能性もWEB上で確認できるので、次の目標に向けていち早くリスタートすることができます。

お子さまの「いま」も進路情報も、知りたい情報はすべてMY NICHINOKENにある。

日能研では、35年以上前に中学受験にコンピュータシステムを導入し、以来、豊富な情報とITを駆使した情報力を進化させ続けてきました。

ひとりひとりの習熟度をはかる学習力育成テストや全国公開模試などから得られる膨大なデータ、受験生の動向・入試結果の分析データなど、幅広い情報蓄積と、目的に応じてそれらの情報を開示し、「お子さまの明日に役立つツール」として運用できる能力が、日能研の強みです。



志望校決定から受験指導まで。

全国ネットワークの 豊富な情報で 強カバックアップ。

有益な情報を
必要な時期に提供する
多彩なイベントを開催

日能研は現在、全国に約150校を展開。信頼性の高いデータに基づいた情報力で、お子さまの志望校合格と保護者の皆さまの情報収集を全力でバックアップしています。イベントでは、時期に応じて保護者会や各種講演会を積極的に開催。入試終了後には、「入試結果報告会」や「入試問題研究会」などで一般の方にも情報を開示しています。他にも、志望校選びのための「学校を知る会」など多彩なイベントをご用意し、有益な情報を最適なタイミングで提供します。

過去問の扱い方や合格に向けての学習方法、出願の準備、直前期の学習についてなど、必要な情報をタイムリーに保護者の皆さまにお伝えします。

日能研のみ参加可能な
イベントスケジュール(予定)

※日能研の新学期は2月にスタートします。

イベント	時期	対象学年
新学年開講ガイダンス	2月	3~6年生
入試結果報告会(各教室)	2月	3~6年生
新学年子ども会	2月	3~6年生
春期講習ガイダンス	3月	3~6年生
志望校選定保護者会	5月	6年生
前期学習保護者会	5月~6月	3~5年生
合格のための保護者会	6月・10月・12月	6年生
首都圏受験相談	6月・10月	6年生
関西地区受験相談	7月・11月	6年生
夏期講習ガイダンス	6月~7月	3~6年生
後期開講ガイダンス	8月	3~6年生
後期学習保護者会	10月	3~5年生
最終保護者会	12月	6年生
冬期講習ガイダンス	11月~12月	3~5年生



合格のための保護者会



最終保護者会



私立中学へ行ってみよう会 (2023年は名古屋中学校で開催)

日能研生・一般の方が参加可能な
イベントスケジュール(予定)

※日能研の新学期は2月にスタートします。

イベント	時期	対象学年
県外入試結果報告会	3月	1~6年生
●入試問題研究会	3月	1~6年生
●オン・ザ・ロード	3月	1~6年生
関西地区・首都圏オン・ザ・ロード	4月	1~6年生
全国最難関校入試問題研究会	6月	1~6年生
関西難関私立中学合同相談会	9月	1~6年生
●私立中学へ行ってみよう会	10月	1~3年生
●関西地区・首都圏 入試情報説明会	10月	1~6年生
●未来への学びを考える会	随時	1~6年生

各学校の入試問題の特徴やねらいについて解説するとともに、合格のために必要な学習方法について詳しく説明します。

中学入試のこれからと学習を考える日能研のビッグイベント。東海地区の本年度の中学入試の概況や入試問題の傾向分析を最新の資料とともにお伝えします。

なぜ、私立中学が人気を集めるのか?どんな環境で学ぶのか?気になる私立中学の魅力を感じられる低学年向けのイベントです。各中学の先生方によるパネルトークや見学ツアーなど多彩な内容で、私立中学ならではの魅力を一気に体験していただけます。

関西・首都圏の日能研の担当者がお話いたします。全国に教室を展開する日能研だからできるイベントです。

中学受験にとどまらず、大学入試や子どもとのコミュニケーションの取り方など、小学生のお子さまを持つ方々に役立つさまざまな講演会を「未来への学びを考える会」として開催しています。

「今、何をすべきか?」を一緒に考える 個別面談

定期的に個別面談を実施しています(前期・後期にそれぞれ1~2回、クラス・学年別の保護者会を行う場合もあります)。学習力育成テストや全国公開模試の結果など、これまでの成績などをもとに、次の目標達成のために何をすべきか?をクラス担当者が一緒に考えます。

※クラス担当者とお子さまとで面談を実施する場合もあります。

「目指す道」を一緒に考える 受験相談

6年生の受験相談を後期(10月頃)に行います。前期の全国公開模試や学習力育成テストの結果に、9月10月実施の全国公開模試、合格力育成テストなど直近の結果データを踏まえて、志望校、あるいは併願校の選定、受験スケジュール、苦手分野・教科の克服対策などをクラス担当者で行う個別面談です。

※受験相談実施後も、受験校決定まで必要に応じて面談を実施します。

学校案内(東海版)



日能研に通う6年生全員に配布される情報誌です。東海地区の私立・国立中学校と、全国の寮のある私立中学校の入試情報、学校紹介、中学受験の基礎知識、学校選択のポイントなどをわかりやすく編集し、7月に発行しています。

東海つうしん



年4回発行。東海地区の学校情報、入試に向けての学習アドバイスなど役立つ最新情報を発信します。毎回掲載するユニークな学校案内(私立中学シッテQ!)では、独自の取り組みや部活動などを取り上げます。

全国的入試・学校情報も満載!
入試情報
東海地区の私立・国立中学の情報はもちろん、全国に展開する日能研の強みを活かしたさまざまな地区(北海道・首都圏・関西・四国・九州エリア)の学校情報や入試対策なども、東海地区の日能研に通いながら入手することができます。

3年生から6年生まで。各学年の通室スケジュールイメージ



授業は70分単位です。(1コマ=70分)

※時間割・テストの時間は各教室で異なります。
 ※それぞれのクラス分けについては、一定の基準を設けています。詳しくは各教室までお問い合わせください。
 ※小学校の行事などの都合により、各テストは別の日程・時間帯で受験することができます。

3年生

ステージ I 出会う

授業日数: 1日or2日/週
 テスト: 毎月1回土曜日

教室によって、2教科週1通室、2教科週2通室を選択できます。

●例1：2教科週2通室の場合

日	月	火	水	木	金	土
						マイファーストテスト
国語	算数					
17:00~18:10	17:00~18:10					12:30~14:30

●例2：2教科週1通室の場合

金	土	日	月	火	水	木	金	土
	国語							国語
	算数							算数
	9:40~12:10							9:40~12:10
				社理*				マイファーストテスト
				17:00~18:10				12:30~14:30

マイファーストテスト出題範囲 国語・算数の過去1か月分の授業内容。ただし、テスト当日の授業内容は次回のテスト範囲となります。

※社会・理科を受講する場合は通塾日数が1日増えます。
 ※社会・理科は名駅校・千種校のみの設置です。この2教科は隔週で交互に授業を行います。他教室からの受講も可能です。

4年生

ステージ II 親しむ
 ステージ III 広げる

学習サイクル: 2週間
 授業日数: 2日/週
 テスト: 隔週土曜日

●週間スケジュールの例 (Mクラス Aクラス)

金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	テスト														テスト
	8:45~11:45														8:45~11:45
国語															国語
社会															社会
17:00~19:30															17:00~19:30

テスト出題範囲 過去2週間の授業内容。ただし、テスト前日の授業内容は次回のテスト範囲となります。

※社会と理科は隔週で交互に授業を行います。

●年間スケジュール

	3年生												4年生											
予科・本科教室	春期講習				夏期講習				冬期講習				春期講習				夏期講習				冬期講習			
日能研全国公開模試	●●●●●●●●●●●●●●												●●●●●●●●●●●●●●											
テスト	月1回				月1回				月2回				月2回											
日特	日能研入試問題研究特別講座												日能研入試問題研究特別講座											

5年生

ステージ III 広げる
 ステージ IV 深める

学習サイクル: 2週間
 授業日数: 3日/週
 テスト: 隔週土曜日

●週間スケジュールの例 (Mクラス Aクラス)

金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	テスト														テスト
	13:00~16:30														13:00~16:30
社会															社会
理科															理科
18:20~20:55															18:20~20:55

テスト出題範囲 過去2週間の授業内容。ただし、テスト前日の授業内容は次回のテスト範囲となります。

6年生

ステージ IV 深める
 ステージ V 鍛える

学習サイクル: 1週間
 授業日数: 3日/週
 テスト: 毎週日曜日

●週間スケジュールの例 (Mクラス Aクラス)

金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	テスト								テスト
	8:45~12:45								8:45~12:45
理科	日能研入試問題研究特別講座								理科
理科	日特								理科
算数	13:10~16:50								算数
算数									算数
算数									算数
12:30~19:00									12:30~19:00

日特

日能研入試問題研究特別講座

各学校で出題された実際の入試問題を素材として、問題を読み取る力や知識を運用する力を鍛える講座です。

前期 学力別クラス編成
 後期 志望校別クラス編成

場所 (予定) 名駅校・金山校・千種校・御器所校・本巣校・一宮校

教科 国語・算数・社会・理科

授業時間 前期・後期:105分×2コマ

※日能研入試問題研究特別講座は原則必修受講となります。

テスト出題範囲 過去1週間の授業内容。ただし、テスト前日の授業内容は次回のテスト範囲となります。



●年間スケジュール

	5年生												6年生															
予科・本科教室	春期講習				夏期講習				冬期講習				春期講習				夏期講習				冬期講習				合格力ファイナル			
日能研全国公開模試	●●●●●●●●●●●●●●												●●●●●●●●●●●●●●															
テスト	月2回				月2回				月3回				月3回															
日特	日能研入試問題研究特別講座												日能研入試問題研究特別講座															

通室時の安心対策を徹底。

安心して教室に通うために、日能研ができること。
子どもたちを守る安心・安全対策の取り組みをご紹介します。



警察OBが見守る Nセキュリティ

各教室を警察OBが巡回し、通室時の最寄り駅から教室までの安全確認や子どもたちへの防犯指導にあたります。



入退室をお知らせ 「Nパス」

正会員証をセンサーにかざすだけで、登録した保護者の方のメールアドレスへ入退室をリアルタイムでお知らせします。



N生のトレードマーク!

Nバッグ&Nブザー

NバッグのN字部分には、光る反射材を採用。ライトが当たると浮き上がって見え、ドライバーに注意を促します。また、全員に配布するNバッグの形をした防犯ブザーは、バッグの肩ひもに装着でき、万が一のときの操作のしやすさにも配慮した設計になっています。

入会手続きのご案内

まずは「全国テスト」または「入会資格テスト」で
今のお子さまの実力を知ることから始めてみませんか？



オンラインでのサポート。



欠席した時も安心! 授業動画

本科・予科教室各回の授業動画をMY NICHINOKENでご覧いただけます。



ICTを利用した 情報提供

保護者会の動画をMY NICHINOKENで配信したり、面談をオンラインで実施したりしています。